

日退教発 16 - 19 号
2016 年 7 月 5 日

日本退職教職員協議会
県各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 西澤 清

日退教福島スタディーツアー

「福島原発事故から 5 年半－福島を今を・・・」

参議院選挙も最終盤となりました。比例区「なたにや正義」、さらに「兵庫・水岡」「愛知・斉藤」をはじめとする各選挙区推薦候補者の必勝に向けてのご奮闘に敬意を表します。

安倍政権は、原発の不都合な事実を目をつむり、再稼働と輸出にシャカリキになっています。原子力規制委は、『世界一厳しい安全基準』という嘘八百を垂れ流し、安倍政権と一体になって危険を隠蔽しています。安倍政権は海外に自衛隊を出すことには熱心ですが、肝心の国内の安全対策はおざなりで、世界一脆弱な日本の原発をナシ崩しで次々と再稼働させようとしています。

一方いまだふるさとに帰れず県内外に避難している方は福島で 9 万人にも上っています。(福島県は 7 月 4 日、東日本大震災と東京電力福島第 1 原発事故に伴う本県の県内外合わせた避難者数が、初めて 9 万人を下回ったと発表しました。同日付の被害状況即報で県内避難者 4 万 7 928 人、県外への避難者 4 万 1 375 人、避難先不明 20 人で計 8 万 9 323 人。) 政府は「除染による安全性の確保」を根拠に避難指示解除をすすめています、住民は「安心して帰還する」状況には至っていません。

今回、日退教は現地福島県退教の協力を得て、福島を被災の現況をあらためて学習し、脱原発社会の実現をめざす運動の一環として、表記行事を企画いたしました。各単会会員の皆様の積極的な参加を要請いたします。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1 日 時 | 2016 年 11 月 13 日 (日) ～14 日 (月) |
| 2 会場・宿泊 | 福島県飯坂温泉 公立学校共済組合飯坂保養所 あづま荘 |
| 3 行程 (予定) | <u>11 月 13 日 (日)</u>
13 : 30 受付 (あづま荘・学習会会場)
14 : 00～16 : 30 講演・学習会
「福島の現況 避難解除で子どもたち・学校は」(仮)
講師 福島県教組組合員 (予定)
18 : 00 交流懇親会
宿泊 |

14日(月)

8:30～ あづま荘発 バスにて被災地(川俣・飯館・浪江など)の現況をみる

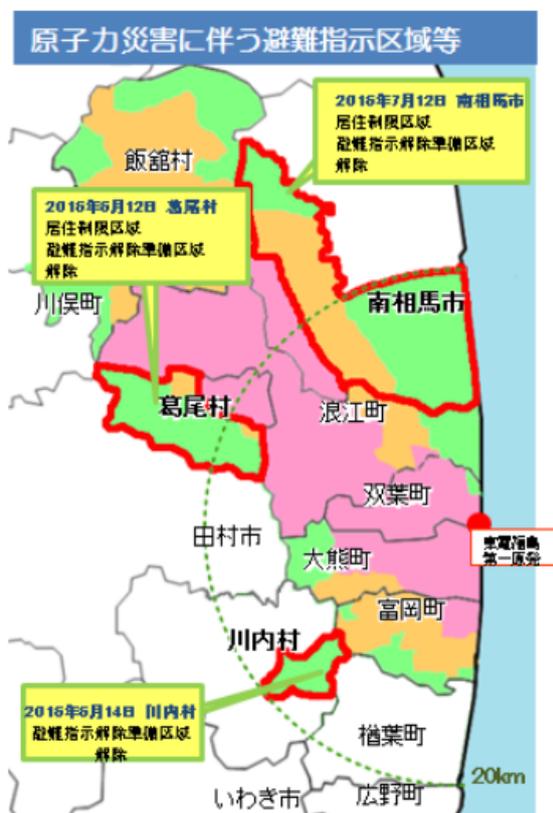
車中現地退教のみなさんから現況・課題等の講話があります。

(コース検討中です。)

16:00 福島駅(予定)着 解散

- 4 募集人員 35名
- 5 費用 1万5000円
1泊3食(交流懇親会・視察時昼食弁当含む)、バス代等全て含む。
- 6 申込・締め切り 9月30日(金) 別紙申込用紙にてFAXでお願いいたします。
- 7 その他 (1) 当日あづま荘集合となります。
(2) 基本的に男女別相部屋となります。
(3) 詳細は参加者に別途連絡いたします。

避難指示区域の概念図(2016年6月12日更新)



【区域区分・原子力発電所名称】

■ 帰還困難区域

放射線量が非常に高いレベルにあることから、バリケードなど物理的な防護措置を実施し、避難を求めている区域。

■ 居住制限区域

将来的に住民の方が帰還し、コミュニティを再建することを目指して、除染を計画的に実施するとともに、早期の復旧が不可欠な基盤施設の復旧を目指す区域。

■ 避難指示解除準備区域

復旧・復興のための支援策を迅速に実施し、住民の方が帰還できるための環境整備を目指す区域。

以上

日退教福島スタディーツアー

「福島原発事故から5年半ー福島の今を・・・」

参加者申込み名簿

申し込み日 2016年 月 日

単会名	
連絡責任者	

参加者お名前 (年齢)	(〒) 住 所	電話《できれば携帯》	Fax
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		

参加者申し込み締め切りは9月30日(金)です

日退教 FAX 03-5275-2081